

2. 重要課題への対応

人権教育・啓発の推進にあたっては、女性、子ども、高齢者、障害者、同和問題、外国人、患者及び感染者等の重要課題に対して、それぞれの固有の視点からのアプローチとともに、法の下での平等、個人の尊重といった人権一般の視点からのアプローチにより取り組んでいきます。

(1) 女性

【現状と課題】

我が国では、基本的人権の尊重を基本理念とした日本国憲法によって、法の下での男女平等が保障され、女性の地位向上に向けた様々な取組が進められてきました。

今日、女性の社会参加が増大し、女性の社会・経済に果たす役割はますます高まり、すべての個人が互いに人権を尊重し、性別にかかわらず、個性と能力が十分に発揮できる男女共同参画社会の実現は、21世紀の我が国における重要課題となっています。

大田市においては、2005（平成17）年10月に「大田市男女共同参画推進条例」を制定、2006（平成18）年11月には施策の指針となる「大田市男女共同参画計画」を策定し、市民、事業者、各種団体と連携して施策の推進に取り組んでいるところです。

2007（平成19）年に実施した「市民意識調査」では、「『男は仕事、女は家庭』という性別役割分担についての考え方」の問いに対し、63.2%が反対、35.6%が賛成となっており、また、「女性が差別や人権侵害を受けていると感じる場面」の問いに、「職場での仕事の内容や給与格差、役職などへの昇任」、「家庭内での家事や育児の分担」、「採用や就職の際の男性との取扱いの差」の意見が多くなっていました。

また、政策・方針決定の場への女性の参画について、2008（平成20）年4月の審議会等への女性の参画率は27.4%と2010（平成22）年の数値目標である40%と比べるとまだまだ低い数値です。

このことから、男女の生き方や行動、あるいは考え方について固定的な性別役割分担意識・社会通念・慣習が依然として存在しており、それが家庭・職場や地域の日常生活において男女の平等感を妨げていると考えられます。

さらに近年、セクシュアル・ハラスメント（*3）、ストーカー（*4）、ドメスティック・バイオレンス等が大きな社会問題となっています。関係部署や関係機関との連携に努め、被害者支援の充実を図るとともに、女性に対する暴力は、女性への重大な人権侵害であることを広く認識してもらうためにも、あらゆる機会を捉えて啓発を進めていく必要があります。

【施策の基本的方向】

人口減少や少子高齢化が進展する状況の中で、だれもが住みやすく、安心して暮らすことのできるまちづくりには、これまでの社会の仕組みに捉われることなく、男女が互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現が必要です。

当市では、「大田市男女共同参画計画」に基づく5つの基本的方向に沿って具体的施策を定め、関係各部署と連携して総合的に進めていきます。

【具体的施策】

ア. 男女共同参画社会の実現に向けた啓発

固定的な性別役割分担意識・社会通念・慣習を払拭し、男女共同参画への正しい認識を促すための啓発活動を、家庭や職場、並びに地域などあらゆる機会を捉えて取り組みます。

学校においては、次代を担う子どもたちへ正しい人権意識や男女平等意識を育成するために、男女平等の視点に立った環境整備に努めるとともに、教職員、保護者に対して正しい認識と資質向上のための啓発に努めます。

イ. 家庭、職場、地域等における男女共同参画の推進

地域において固定的な観念が根強いことから、男女が共に地域の活動に参画できるように、公民館等と協力して、意識改革や男女共同参画の必要性を正しく認識してもらうよう取り組みます。

家庭内における男女の固定的性別役割分担意識を解消するため、公民館や各種団体等において男女共同参画の視点からの学習会等の機会の提供に努めます。さらに、職場環境や子育て環境の充実を図り、男性も女性も共に家庭と他の活動にバランスをとって参画できるよう支援します。

政策・方針決定の場への女性の参画のために、女性の意識改革と人材育成のための学習と研修の機会の提供を行い、各種審議会等において適正な人材を選任できるよう働きかけます。

ウ. 女性に対する暴力の根絶

男女がお互いを尊重しながら、男女共同参画社会を形成していくために実現しなければならない課題に「女性に対する暴力の根絶」があります。女性に対する暴力は犯罪となる重大な人権侵害であることを認識してもらうとともに、根絶に向けた広報や人権意識を高めるための学習・研修の機会を提供します。

「大田市女性・児童・高齢者に対する暴力・虐待対策庁内連絡会」において、関係職員の資質向上及びドメスティック・バイオレンスについての共通理解のもとに被害者支援に努めます。